

かまくら

ひろまちだより VOL.4

主なニュース

- ・ 広町緑地に春の訪れ
- ・ ヒキガエルの産卵はじまる



広町緑地に春の訪れ

田おこしが終わり、畑では育苗作業の真っ最中。園路沿いの斜面にはタチツボスミレが咲き、田んぼや湿地ではアズマヒキガエルの産卵ははじまっています。

春から初夏にかけて、鎌倉広町緑地は多くの生き物で賑わいます。田んぼや畑作業、自然観察など、里山ボランティア活動も楽しい季節となります。みなさん、お気軽にご参加ください。



桜がさきはじめました

3月半ば、鎌倉広町緑地で早咲きの桜が開花し、3月下旬から、御所谷入口の桜も徐々に咲き始めました。

広町緑地の桜の開花時期は場所によって差があり、シンボルツリーになっている「桜大木（通称：大桜）」が満開を迎えるのはおそらく4月初旬。推定樹齢200年ともいわれる古木ならではの花を楽しみに、毎年多くの方が訪れます。



広町緑地を歩こう vol.3 ～桜大木へ～



管理事務所の裏手から木階段を登り、外周路との合流地点となる広場（マップ10番）へ。そこから「鎌倉山入り口」方面へ進むと、「桜大木」の案内板（マップ9番付近）があります。推定樹齢200年といわれる「桜大木」は派手ではありませんが味わいのある花を咲かせ、古木ならではの枝ぶりが楽しめます。

「桜大木」の前にはベンチもありますので、散策の休憩スポットとしてもご活用ください。

眺望スポット紹介 vol.3 [鎌倉山より]



常盤口から鎌倉山ロータリーを結ぶ鎌倉山の桜並木。その途中に広町緑地を見渡せるスポットがあります。目標となるのはバス停「見晴」。周辺には食事処やカフェもあり、桜見物の休憩にちょうどいい場所となっています。

ヒキガエルの産卵がはじまりました



今年は例年に比べカエルの産卵時期が遅く、ヒキガエルも3月下旬になってようやく産卵をはじめました。

紐状の卵塊は5m以上の長さがあり、その中には数千個の卵が含まれているといわれます。

広町緑地でのヒキガエル産卵スポットは「小竹ヶ谷」の湿地や田んぼなど。しばらくすると、おたまじやくしがモズクのように固まっている姿が見られます。

初夏は桐と藤の花が見ごろを迎えます

鎌倉広町緑地のランドマークのひとつとなっている桐の大木。例年ゴールデンウィーク頃に紫色の花を咲かせます。同時期に花を咲かせる藤の花を眺めながら、七里ガ浜入り口付近の桐の大木を目指すのもいいかもしれません。

5月初旬には、里山さんぽ「大桐鑑賞会」を開催する予定です。

※里山さんぽに関するお問い合わせは、管理事務所まで



● 鎌倉広町緑地管理事務所のご利用案内